

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

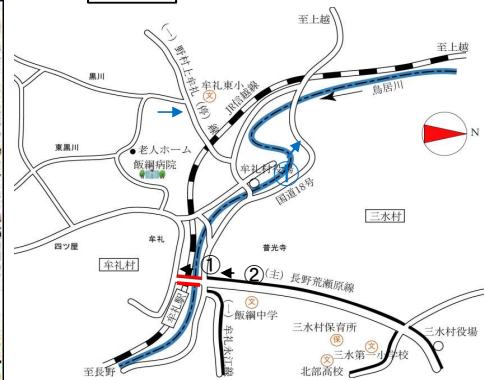
事業名	交通安全施設等整備事業		路河川名等	(主)長野荒瀬原線					
事業毎の通番	22	市町村名	飯綱町	箇所名(ふりがな)	深沢(ふかさわ)				
事業概要	事業目的	本路線は長野市と飯綱町を結ぶ幹線道路である。 また、近隣にある飯綱町立の小中学校の通学路の指定、更に県立北部高等学校の学生がJR牟礼駅から学校までの通学路となっているため、朝夕の人の通りが多いが、当該箇所には歩道が整備されていないことから、歩行者等が危険にさらされている状況である。 このため、歩道を整備することにより、安全かつ快適な歩行空間の確保を図りたい。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり	事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律					
	関連する事業、計画等	通学路緊急合同点検							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	三水第一小学校、飯綱中学校、北部高校 通学生 他 現況自動車交通量 : 2,537台/日、現況自転車歩行者交通量 : 665人/12h							
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	—	国庫	その他	県債	一般財源	
	全体事業内容(主な工種)	歩道設置工 L=140m W=2.5m(両側)			300,000	180,000	108,000	12,000	
	年度事業内容(主な工種)	物件調査 一式 用地補償 一式			30,000	18,000	10,800	1,200	
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	歩道整備により通学児童・生徒など歩行者の安全が確保できる						
		間接的効果(定量的・定性的)	当該地区は、牟礼駅が近く、また飯綱町中心市街地にあるため、地域の活性化が期待できる。						
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量 : 2,537台/日 ○現況自転車歩行者交通量 : 665人/12h					評価	A	
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 1つ整合(通学路緊急合同点検) ○緊急輸送路の路線指定 : 指定なし					評価	C	
	効率性	○事業期間 : 4年間(H27~H30)					評価	B	
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 人or自転車×自動車事故 1件 ○通学路対策 : 通学路指定あり(飯綱町立三水第一小学校、飯綱中学校通学路) ○現況の歩道幅員 : 歩道なし					評価	B	
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者を中心に周知(H25.11事業説明会開催) ○地域の取り組み : 積極的な取り組みがある(地元要望が強い) ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている ○住民との協働 : 住民参加型の事業(地域住民の関心が非常に高い)					評価	A	
	部意見	狭窄な道路で通学路であるが、歩道がなく、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	行政改革課意見	JR牟礼駅の前で多くの児童、生徒が通学していることから、必要性が認められる。	評価結果	○	総合評価	B	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置図



平面図



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該箇所は、三水第一小学校、飯綱中学校の通学路になっており、さらに北部高校生の通学路になっているため、歩行者が非常に多い。しかし歩道がないため、車両から歩行者の安全を確保の必要性がある。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	例年、地元地区から歩道の早期整備の要望が出されている。	
③事業説明等の経緯	地元地区で事業説明会を実施して、事業に対する理解が得られている。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	直轄施工による国道18号線交通安全事業による歩道設置	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	冬期の降雪でも支障なく歩けるように十分な幅員を確保している。	
⑥地域活性化への影響と配慮	当該地区は、牟礼駅が近く、また飯綱町中心市街地にあるため、歩道を整備することにより、地域の活性化に寄与させる。	
⑦その他		
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 138° 14'53" 東経:E 36° 45'00"